

### 3 埼玉県予防接種実施状況調査

#### (1) 概要

予防接種は感染症の重要な予防対策であり、対象疾患の好発年齢までに終了し、集団としての接種率を高く維持することが望ましい。予防接種の推奨には、その効果と意義に関する十分な説明と共に、予防接種がどの程度実施されているのかという評価指標が不可欠である。

埼玉県では、予防接種実施状況を把握するため、県内市町村の協力を得て平成 9 年度から調査を行い、その詳細を毎年「埼玉県予防接種調査資料集」にまとめ、提供している。

令和 4 年度調査では、令和 4 年度定期予防接種実施計画、定期外予防接種(令和 3 年度実施結果と令和 4 年度実施計画)、令和 3 年度生年別接種者数の三事項について調査し、対象 63 市町村全てから報告を受けた。

#### (2) 令和 4 年度定期予防接種実施計画

各定期予防接種の市町村別接種対象期間を以下にまとめた。各ワクチンの略号は、不活化ポリオワクチン：IPV、百日せきジフテリア破傷風不活化ポリオ混合ワクチン(四種混合ワクチン)：DPT-IPV ワクチン、ジフテリア破傷風混合トキソイド：DT ワクチン、麻しん風しん混合ワクチン：MR ワクチン、ヘモフィルス・インフルエンザ菌 b 型：Hib、ヒトパピローマウイルス：HPV とした。

##### a. ジフテリア、百日せき、急性灰白髄炎及び破傷風の予防接種

DPT-IPV ワクチン 1 期初回及び IPV1 期初回の対象年齢は、全市町村で生後 3 か月～7 歳 6 か月であった。DPT-IPV ワクチン 1 期追加及び IPV1 期追加の対象年齢は全市町村で生後 3 か月～7 歳 6 か月であった。DT ワクチン 2 期では全市町村が定期接種期間と同じ 11 歳～13 歳であった。

##### b. 麻しん及び風しんの予防接種(MR、麻しん単抗原、風しん単抗原)

第 1 期 MR の対象期間は、各ワクチンともに全市町村で標準的な接種期間と同じ 1 歳～2 歳であった。第 2 期 MR の対象期間は、各ワクチンともに全市町村で定期接種期間と同じ 5 歳～7 歳であった。麻しん単抗原及び風しん単抗原は該当のない 3 市町村を除き、MR と同様であった。

##### c. 日本脳炎の予防接種

日本脳炎 1 期初回の開始年齢は、生後 6 か月：61 市町村、3 歳：2 市

町村であった。終了年齢は全市町村で 7 歳 6 か月であった。1 期追加の開始年齢は生後 6 か月：61 市町村、3 歳：2 市町村であった。終了年齢は全市町村で 7 歳 6 か月であった。2 期の対象期間は全市町村で定期接種期間と同じ 9 歳～13 歳であった。

d. 結核の予防接種(BCG)

BCG の開始年齢は、生後 0 か月：59 市町村、生後 2 か月：1 市町村、生後 3 か月：1 市町村、生後 5 か月：2 市町村であった。終了年齢は全市町村で 1 歳であった。

e. Hib 感染症の予防接種

初回の接種対象期間は、全市町村が定期接種期間と同じ生後 2 か月～5 歳であった。追加の開始年齢は生後 2 か月：61 市町村、生後 11 か月：1 市町村、1 歳：1 市町村であった。終了年齢は全市町村 5 歳であった。

f. 小児の肺炎球菌感染症の予防接種

初回の接種対象期間は、全市町村が生後 2 か月～5 歳であった。追加の開始年齢は生後 2 か月：60 市町村、1 歳：3 市町村であった。終了年齢は全市町村で 5 歳であった。

g. ヒトパピローマウイルス感染症(子宮頸がん)の予防接種

開始年齢は、11 歳：62 市町村、12 歳：1 市町村であった。終了年齢は全市町村で定期接種期間と同じ 17 歳であった。

h. 水痘の予防接種

接種対象期間は、全市町村が 1 歳～3 歳であった。

i. B 型肝炎の予防接種

開始年齢は、生後 0 か月：48 市町村、生後 2 か月：15 市町村であった。終了年齢は全市町村で 1 歳であった。

j. ロタウイルス感染症の予防接種

(a) 1 価

開始年齢は、生後 1 か月：53 市町村、生後 2 か月：10 市町村であった。終了年齢は全市町村で生後 6 か月であった。

(b) 5 価

開始年齢は、生後 1 か月：53 市町村、生後 2 か月：10 市町村であった。終了年齢は全市町村で生後 8 か月であった。

(3) 各予防接種における接種方式

各定期予防接種について、市町村が定める個別・集団・個別集団併用(個集併用)の 3 接種方式について集計した。ほとんどの市町村で個別方式がとられているが、BCG の個集併用(1 市町村)の報告があった(表Ⅲ-3-1)。

表Ⅲ-3-1 各ワクチンの接種方式(市町村数)

接種方式	DPT-IPV 1期 初回・追加	DT 2期	IPV1期 初回・追加	MR 第1・2期	麻しん・ 風しん 第1・2期	日本脳炎		
						1期初回	1期追加	2期
個別	63	63	63	63	* 60	63	63	63
集団	0	0	0	0	0	0	0	0
個集併用	0	0	0	0	0	0	0	0

接種方式	BCG	Hib 初回・追加	小児用 肺炎球菌 初回・追加	HPV (子宮頸がん)	水痘	B型肝炎 初回・追加	口タ
	個別	62	63	63	63	63	63
集団	0	0	0	0	0	0	0
個集併用	1	0	0	0	0	0	0

\* 麻しん・風しん第1・2期は、「該当なし」及び「医師会との契約をしていないため、単抗原接種希望者がいた場合、混合ワクチンの接種を勧める」の計3市町村を除く。

表Ⅲ-3-2 生年別接種完了率

	令和 3年生	令和 2年生	令和 元年生	平成 30年生	平成 29年生	平成 28年生	平成 27年生	平成 26年生	平成 25年生
DPT1期初回1回目*	99.9%	<b>103.7%</b>	103.6%	102.6%	102.3%	102.2%	101.8%	101.6%	101.3%
DPT1期初回2回目*	90.7%	<b>103.9%</b>	103.8%	102.8%	102.5%	102.6%	101.8%	101.4%	101.3%
DPT1期初回3回目*	80.1%	<b>103.8%</b>	103.6%	102.8%	102.6%	102.5%	101.7%	101.0%	101.2%
DPT1期追加*	0.6%	62.9%	98.7%	100.6%	101.3%	101.3%	<b>101.6%</b>	101.0%	100.5%
不活化ポリオ1期初回1回目**	99.9%	<b>103.8%</b>	103.6%	102.6%	102.4%	102.2%	101.8%	101.6%	101.3%
不活化ポリオ1期初回2回目**	90.7%	<b>103.9%</b>	103.8%	102.8%	102.5%	102.6%	101.8%	101.4%	101.2%
不活化ポリオ1期初回3回目**	80.1%	<b>103.8%</b>	103.7%	102.8%	102.7%	102.5%	101.7%	101.1%	101.2%
不活化ポリオ追加**	0.6%	62.9%	98.7%	100.6%	101.4%	101.4%	<b>101.7%</b>	101.1%	100.6%
MR第1期	16.3%	101.1%	<b>103.7%</b>	102.7%	102.5%	102.3%	101.3%	100.9%	100.1%
MR第2期	-	-	-	-	0.0%	25.3%	100.4%	<b>101.2%</b>	100.0%
日本脳炎1期初回1回目	0.3%	1.3%	7.9%	70.6%	94.0%	98.4%	100.2%	<b>100.6%</b>	98.8%
日本脳炎1期初回2回目	0.3%	1.2%	5.2%	62.9%	90.2%	95.8%	98.4%	<b>99.6%</b>	97.8%
日本脳炎1期追加	-	0.2%	0.8%	2.4%	21.8%	56.3%	80.6%	<b>90.6%</b>	89.4%
水痘1回目	15.2%	100.1%	<b>103.6%</b>	102.6%	101.9%	101.6%	99.0%	98.4%	77.2%
水痘2回目	0.0%	52.7%	94.4%	<b>96.1%</b>	94.7%	93.9%	89.9%	83.2%	75.2%

(-:累積接種者0人)

接種完了率が最も高い生年

\* DPTとDPT-IPVの合算

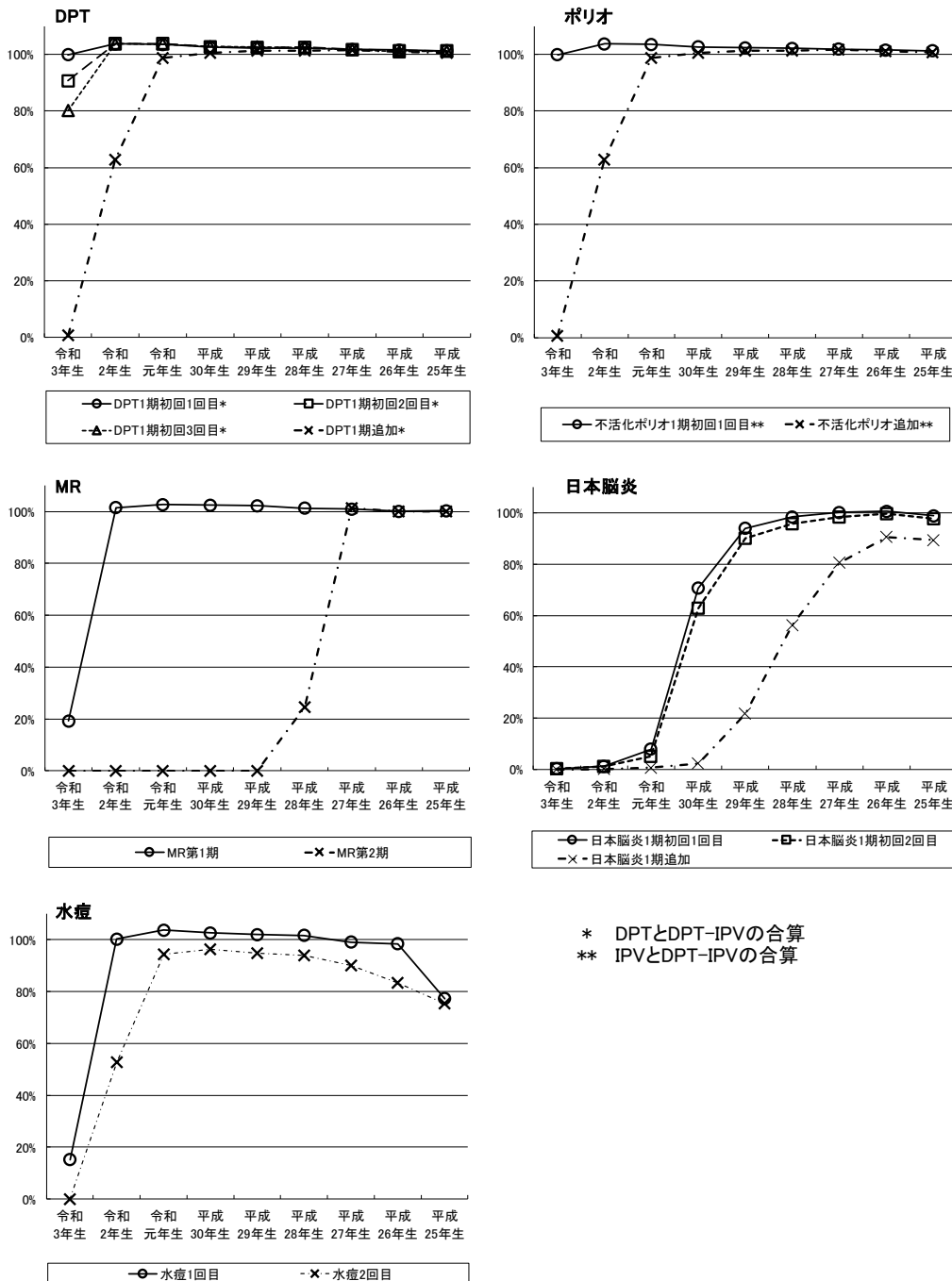
\*\* IPVとDPT-IPVの合算

#### (4) 令和3年度定期予防接種実施状況

##### a. 生年別接種完了率

平成26年度～令和4年度調査までの9年間の接種者数を積み上げ、各生年の予防接種別接種完了率を算出した(表Ⅲ-3-2、図Ⅲ-3-1)。

DPT ワクチンの接種完了率が最も高かったのは、1期初回1回目では令和2年生(103.7%)、1期初回2回目では令和2年生(103.9%)、1期初回3回目では令和2年生(103.8%)、1期追加では平成27年生(101.6%)であった。



図Ⅲ-3-1 各予防接種別生年別接種完了率

不活化ポリオワクチンの接種完了率が最も高かったのは、1期初回1回目では令和2年生(103.8%)、1期初回2回目では令和2年生(103.9%)、1期初回3回目では令和2年生(103.8%)、1期追加では平成27年生(101.7%)であった。

MRワクチンの接種完了率が最も高かったのは、第1期では令和元年生(103.7%)、2期では平成26年生(101.2%)であった。

日本脳炎ワクチンの接種完了率が最も高かったのは、1期初回1回目では平成26年生(100.6%)、1期初回2回目では平成26年生(99.6%)、1期追加では平成26年生(90.6%)であった。

水痘ワクチンの接種完了率が最も高かったのは、1回目では令和元年生(103.6%)、2回目では平成30年生(96.1%)であった。

#### b. 標準接種期間の開始年齢における生年別接種完了率の経年変化

DPT、ポリオ、麻しん、風しん、水痘、日本脳炎について標準的な接種期間に該当する生年における接種完了率の経年変化を示した。

DPTワクチン1期初回1～3回目は、標準的な接種期間に最も合致する年齢の生年の接種完了率を比較した結果、使用するワクチンとしてDPT-IPVワクチンが追加されて以降、接種完了率がより向上し、高い水準に維持されている(表Ⅲ-3-3)。

表Ⅲ-3-3 DPT1期初回1～3回目の接種完了率の経過

DPT 1期初回	①平成26 年度調査	→	②平成27 年度調査	→	③平成28 年度調査	→	④平成29 年度調査	→	⑤平成30 年度調査	→	⑥令和元 年度調査	→	⑦令和2 年度調査	→	⑧令和3 年度調査	→	⑨令和4 年度調査	接種完了率 の変化 ⑨-①
	平成25年生	平成26年生	平成27年生	平成28年生	平成29年生	平成30年生	平成30年生	令和元年生	令和2年生	令和3年生	令和3年生	令和3年生	令和3年生	令和3年生				
1回目	94.6%	→	96.0%	→	97.8%	→	97.8%	→	97.9%	→	98.3%	→	99.6%	→	100.9%	→	99.9%	+ 5.3
2回目	84.3%	→	85.9%	→	89.3%	→	88.5%	→	87.8%	→	88.6%	→	89.7%	→	91.7%	→	90.7%	+ 6.4
3回目	73.6%	→	74.8%	→	80.0%	→	77.6%	→	77.1%	→	77.8%	→	79.0%	→	81.8%	→	80.1%	+ 6.5
ワクチンの 種類	DPT+ DPT-IPV		DPT+ DPT-IPV		DPT+ DPT-IPV		DPT+ DPT-IPV		DPT-IPV		DPT-IPV		DPT-IPV		DPT-IPV		DPT-IPV	

ポリオの予防接種においては、令和4年度調査において、経口生ポリオワクチンを接種していた生年が集計対象から外れたため、不活化ポリオワクチン(DPT-IPV及びIPV)接種者のみが集計対象となった。不活化ポリオワクチンの結果については、DPTワクチンと同様であるため、記載は省略した。

MRワクチンは、1歳になって早い時期に接種した1～3月生まれが該当する生年を平成26年度調査から9年間比較した結果、令和4年度調査の接種完了率は、令和3年度調査より減少した(表Ⅲ-3-4)。

令和4年度調査で全ての対象者が1期対象年齢を迎えている令和2年生のMRワクチン1期接種完了率は前年度調査と同水準であった(表Ⅲ-

3-5)。

表Ⅲ-3-4 麻疹、風しん 1 期接種完了率の経過(1～3 月生まれ)

第1期	①平成26年度調査	→	②平成27年度調査	→	③平成28年度調査	→	④平成29年度調査	→	⑤平成30年度調査	→	⑥令和元年度調査	→	⑦令和2年度調査	→	⑧令和3年度調査	→	⑨令和4年度調査	接種完了率の変化 ⑨-①
	平成25年生		平成26年生		平成27年生		平成28年生		平成29年生		平成30年生		令和元年生		令和2年生		令和3年生	
MR	14.7%	→	15.2%	→	15.4%	→	16.4%	→	16.0%	→	16.9%	→	17.0%	→	19.3%	→	16.3%	+ 1.6

表Ⅲ-3-5 麻疹、風しん 1 期接種完了率の経過

第1期	①平成26年度調査	→	②平成27年度調査	→	③平成28年度調査	→	④平成29年度調査	→	⑤平成30年度調査	→	⑥令和元年度調査	→	⑦令和2年度調査	→	⑧令和3年度調査	→	⑨令和4年度調査	接種完了率の変化 ⑨-①
	平成24年生		平成25年生		平成26年生		平成27年生		平成28年生		平成29年生		平成30年生		令和元年生		令和2年生	
MR	94.9%	→	95.7%	→	96.7%	→	97.2%	→	98.2%	→	99.1%	→	99.3%	→	101.5%	→	101.1%	+ 6.2

水痘ワクチンの定期接種は平成 26 年 10 月 1 日から開始され、8 年分のデータで比較を行った。1 歳になってすぐに接種した 1～3 月生を含む生年を比較した結果、接種完了率は 3.5 ポイント向上した(表Ⅲ-3-6)。

令和 4 年度調査ですべての者が 1 回目の標準的な接種期間に達する生年の接種完了率を比較した。令和 4 年度調査の令和元年生は前年度調査よりもわずかに向上した。平成 28 年度調査以前は定期接種開始前が含まれ、任意接種の接種率が考慮されていない。そのため参考値となる(表Ⅲ-3-7)。

表Ⅲ-3-6 水痘ワクチン 1 回目の接種完了率の経過(早期接種者)

水痘	①平成27年度調査	→	②平成28年度調査	→	③平成29年度調査	→	④平成30年度調査	→	⑤令和元年度調査	→	⑥令和2年度調査	→	⑦令和3年度調査	→	⑧令和4年度調査	接種完了率の変化 ⑧-①
	平成26年生		平成27年生		平成28年生		平成29年生		平成30年生		令和元年生		令和2年生		令和3年生	
1回目	11.7%	→	12.2%	→	14.9%	→	14.6%	→	15.2%	→	15.7%	→	18.3%	→	15.2%	+ 3.5

表Ⅲ-3-7 水痘ワクチン接種完了率の経過

水痘	①平成27年度調査	→	②平成28年度調査	→	③平成29年度調査	→	④平成30年度調査	→	⑤令和元年度調査	→	⑥令和2年度調査	→	⑦令和3年度調査	→	⑧令和4年度調査	接種完了率の変化 ⑧-①
	平成24年生		平成25年生		平成26年生		平成27年生		平成28年生		平成29年生		平成30年生		令和元年生	
1回目	30.5%	→	76.1%	→	97.7%	→	98.4%	→	101.2%	→	101.6%	→	102.3%	→	103.6%	+ 73.1
2回目	31.3%	→	68.3%	→	77.6%	→	84.2%	→	89.0%	→	90.0%	→	92.5%	→	94.4%	+ 63.1

令和 4 年度調査で日本脳炎 1 期初回の標準接種期間に該当する生年のうち、接種 1 回目及び 2 回目が重なる生年について比較した。令和 4 年度調査の平成 29 年生は、前年度調査に比べ接種完了率が低下した(表Ⅲ-3-8)。

表Ⅲ-3-8 日本脳炎 1 期初回 1～2 回目接種完了率の経過

日本脳炎 1期初回	①平成26	→	②平成27	→	③平成28	→	④平成29	→	⑤平成30	→	⑥令和元	→	⑦令和2	→	⑧令和3	→	⑨令和4	接種完了率 の変化 ⑨-①
	年度調査 平成21年生		年度調査 平成22年生		年度調査 平成23年生		年度調査 平成24年生		年度調査 平成25年生		年度調査 平成26年生		年度調査 平成27年生		年度調査 平成28年生		年度調査 平成29年生	
1回目	77.4%	→	78.6%	→	83.6%	→	84.4%	→	88.0%	→	88.3%	→	94.5%	→	96.2%	→	94.0%	+ 16.6
2回目	74.1%	→	74.8%	→	79.6%	→	80.1%	→	82.7%	→	84.2%	→	90.3%	→	92.6%	→	90.2%	+ 16.1

c. 標準的な接種期間に最も多く該当する生年の市町村別予防接種完了率一覧

各予防接種の標準的な接種期間に最も多く該当する生年における市町村別接種完了率を表Ⅲ-3-9に示した。

DPT ワクチン 1 期初回 1 回目(令和 3 年生)は 83.3%～118.2%、MR ワクチン 第 1 期(令和 2 年生)は 87.2%～126.8%、第 2 期(平成 27 年生)は 85.7%～123.5%、日本脳炎 1 期初回 1 回目(平成 30 年生)は 16.0%～102.8%、水痘 ワクチン 1 回目(令和 2 年生)は 84.6%～117.1%に分布した。不活化ポリオワクチンは、DPT ワクチンと同様の結果であるためここでの記載は省略する。

表Ⅲ-3-9 推奨年齢における市町村別接種完了率一覧  
(令和4年度調査)

保健所	市町村名	DPT 1期初回1回目 令和3年生	MR第1期 令和2年生	MR第2期 平成27年生	日本脳炎 1期初回1回目 平成30年生	水痘 1回目 令和2年生
南部	蕨市	117.6%	107.3%	86.5%	69.7%	106.9%
	戸田市	102.1%	103.4%	90.9%	74.9%	103.5%
朝霞	朝霞市	100.0%	100.2%	93.3%	80.3%	99.8%
	志木市	96.9%	98.0%	101.5%	66.7%	96.1%
	和光市	99.7%	96.3%	85.7%	65.1%	95.5%
	新座市	99.5%	102.3%	105.0%	74.2%	101.7%
	富士見市	100.9%	104.0%	95.7%	71.0%	102.4%
	ふじみ野市	99.4%	104.4%	103.1%	72.2%	101.4%
春日部	春日部市	98.3%	97.9%	97.4%	68.2%	96.9%
	松伏町	98.1%	100.8%	108.6%	54.4%	96.1%
草加	草加市	96.0%	97.4%	93.0%	67.5%	96.8%
	八潮市	98.7%	95.5%	93.2%	87.6%	94.4%
	三郷市	102.1%	105.0%	103.9%	85.8%	102.8%
	吉川市	101.4%	103.5%	96.8%	73.9%	97.2%
鴻巣	鴻巣市	99.8%	98.5%	110.1%	55.0%	97.7%
	上尾市	100.7%	103.2%	100.2%	61.8%	101.5%
	桶川市	95.2%	89.8%	98.8%	75.8%	90.3%
	北本市	98.8%	99.2%	102.3%	48.7%	96.1%
	伊奈町	95.7%	100.8%	89.1%	77.6%	100.4%
東松山	東松山市	100.5%	97.6%	102.2%	80.3%	103.4%
	滑川町	109.1%	104.2%	122.7%	102.8%	104.2%
	嵐山町	100.0%	105.7%	107.6%	84.3%	107.1%
	小川町	96.2%	94.8%	103.3%	86.9%	93.8%
	川島町	111.8%	98.6%	104.0%	78.4%	98.6%
	吉見町	95.0%	100.0%	105.1%	85.3%	98.4%
	ときがわ町	100.0%	100.0%	103.5%	79.4%	100.0%
	東秩父村	83.3%	114.3%	87.5%	37.5%	114.3%
坂戸	坂戸市	98.5%	97.1%	101.9%	69.3%	97.0%
	鶴ヶ島市	100.5%	99.8%	92.3%	78.5%	100.2%
	毛呂山町	107.5%	105.6%	106.0%	95.9%	99.1%
	越生町	95.0%	126.8%	112.8%	85.1%	117.1%
	鳩山町	98.0%	112.5%	114.9%	100.0%	112.5%
狭山	所沢市	98.8%	99.8%	97.7%	75.5%	99.7%
	飯能市	98.0%	93.7%	107.3%	71.2%	92.3%
	狭山市	97.0%	98.1%	99.8%	85.0%	96.9%
	入間市	99.5%	101.9%	105.1%	64.0%	101.2%
	日高市	100.4%	96.2%	100.3%	71.6%	93.1%
加須	行田市	98.9%	97.8%	95.7%	55.9%	97.3%
	加須市	100.2%	109.0%	114.9%	90.4%	108.4%
	羽生市	118.2%	116.5%	105.0%	73.0%	116.1%
幸手	久喜市	101.5%	110.3%	107.0%	71.1%	104.1%
	蓮田市	94.9%	99.7%	92.3%	74.9%	100.3%
	幸手市	101.7%	93.8%	104.4%	85.6%	91.9%
	白岡市	101.6%	95.6%	113.5%	79.8%	94.1%
	宮代町	96.8%	96.6%	113.6%	79.2%	97.1%
熊谷	杉戸町	103.4%	109.8%	115.3%	84.4%	109.2%
	熊谷市	103.9%	104.6%	97.1%	74.2%	103.8%
	深谷市	97.5%	100.6%	97.7%	63.1%	100.1%
	寄居町	101.6%	94.0%	101.6%	74.0%	92.9%
本庄	本庄市	99.6%	101.5%	107.5%	55.9%	95.9%
	美里町	95.7%	107.7%	108.1%	69.9%	105.1%
	神川町	91.5%	98.0%	105.3%	60.7%	98.0%
	上里町	100.6%	101.2%	114.9%	69.3%	101.8%
秩父	秩父市	91.8%	99.7%	92.6%	77.1%	99.1%
	横瀬町	91.5%	97.1%	97.9%	80.4%	91.4%
	皆野町	91.4%	106.3%	94.2%	80.9%	106.3%
	長瀬町	103.4%	100.0%	123.5%	16.0%	100.0%
	小鹿野町	84.6%	87.2%	100.0%	78.4%	84.6%
さいたま市	さいたま市	99.1%	101.7%	106.2%	68.2%	100.7%
川越市	川越市	99.8%	98.1%	97.7%	66.5%	97.5%
越谷市	越谷市	94.2%	96.7%	97.8%	58.4%	95.5%
川口市	川口市	106.2%	105.8%	96.0%	70.3%	105.8%
埼玉県		99.9%	101.1%	100.4%	70.6%	100.1%

DPT1期初回1回目：DPTとDPT-IPVの合算



(5) 令和3・4年度定期外予防接種実施状況

令和3・4年度定期外予防接種を比較すると、令和3年度に何らかの定期外予防接種を実施していたのは52市町村(実施なし:11市町村)であったのに対し、令和4年度に計画しているのは53市町村(計画なし:10市町村)で、1市町村増加した(表Ⅲ-3-10)。

表Ⅲ-3-10 令和3・4年度定期外予防接種の比較

予防接種項目	令和3年度		令和4年度		その他内訳	令和 3年度 実施数	令和 4年度 計画数
	実施数	実施率	計画数	計画率			
BCG	4	6.3%	4	6.3%			
小児インフルエンザ	27	42.9%	24	38.1%			
肺炎球菌(高齢者)	19	30.2%	19	30.2%			
水痘	4	6.3%	4	6.3%			
流行性耳下腺炎	10	15.9%	11	17.5%	日本脳炎	1	1
麻しん単抗原	3	4.8%	3	4.8%	HPV(子宮頸がん)	2	5
風しん単抗原	33	52.4%	33	52.4%	IPV(不活性ポリオ)	1	1
MR	34	54.0%	34	54.0%	B型肝炎	1	1
その他*	15	23.8%	24	38.1%	帯状疱疹	-	4

\*「定期期間内で受けられなかった予防接種を救済する」とした市町村及び「骨髄移植等に対する人への再接種を行う」とした市町村を含む。